

4-7 東海地区の地震活動について

気 象 庁

東海地方の過去の被害地震分布を示したものは第1表、第1図であるが、伊豆地方や濃尾、三河地方の地震が大型で、特に伊豆、三河地方では比較的前震を伴ないやすいのに対して、大井川下流域や静岡付近の地震は大規模な地震の起った例がなく、前震や余震が殆んど記録されていない。しかし遠州灘や伊豆半島南方海上では、古い資料のため明らかではないが、大規模地震の起った例がある。

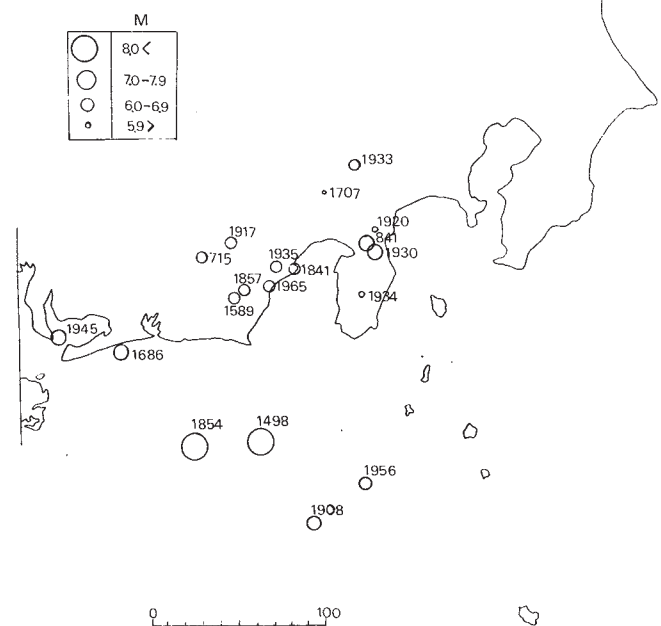
第2図は駿河湾付近の過去数十年間の有感地震回数の変動を示したものであるが、1923年の関東地震、1930年の北伊豆地震、1944年の東南海地震、1945年の三河地震、それに1935年、1965年の静岡地震などで増加したほかは、関東地方などに比べて全体としては有感地震が少なく、最近の20数年間は平穏な状態が続いている。

第3、4図は1935年と1965年に起った静岡付近の地震の発生前後の地震活動の状況を示したものである。図中●印は主震、●、×、……は発生前の1ヶ月、2ヶ月……に起った付近の地震の震央と、()で示したのはその深さ(km)、夫々同図の右側に示したのは主震の周辺直径10数kmの範囲内に起った月当りの地震の数、●印は実測値、○印は主震を中心として前後の日数を月当りに換算した値である。

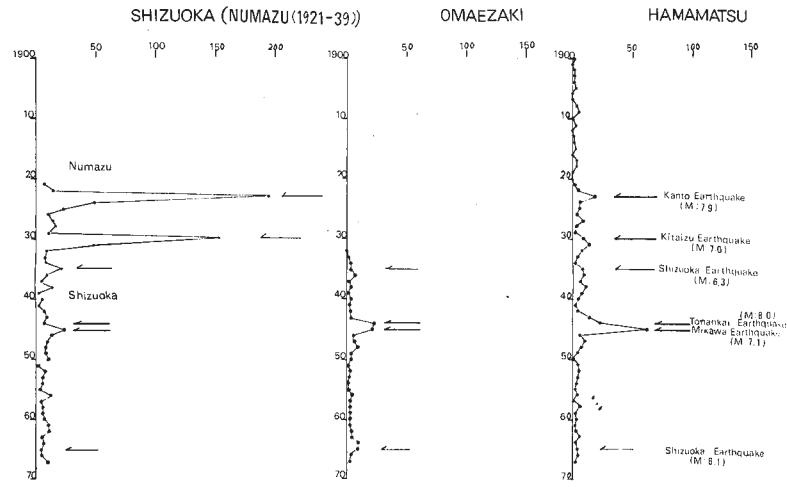
第1表 東海地方被害地震表
(岐阜県を除く)

年 月 日	M	記 事
715 VII 4	6.4	
841 IV~V	7.0	
1498 IX 20	8.6	
1589 III 21	6.7	
1686 X 3	7.0	
1707 XII 16		富士山爆発前震あり
1841 IV 24	6.4	
1854 XII 23	8.4	前震あり
1857 VII 14	6.4	
1908 V 13	7.7	前震あり
1917 V 18	6.3	
1920 XII 27	5.6	
1923 IX 1	6.7	関東地震の余震
1930 XI 26	7.0	前震顕著余震多数
1934 III 21	5.5	
1935 VII 11	6.3	
1945 I 13	7.1	前震あり余震多数
1956 VIII 13	6.5	余震多数
1965 IV 20	6.1	

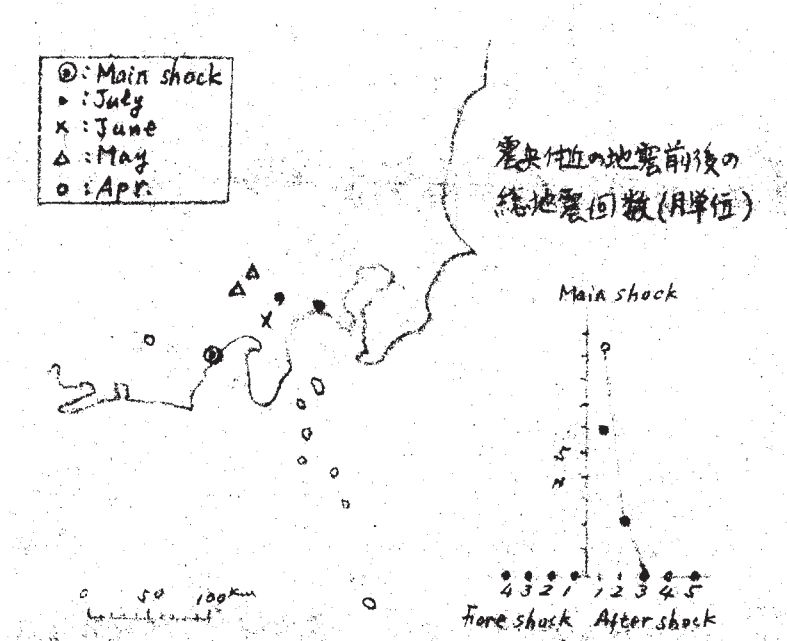
第1図 東海地方の被害地震分布図



第2図 駿河湾付近の有感地震回数の変動



第3図 1935年7月11日の静岡地震 (M = 6.3) の前に発生した周辺の地震



第4図 1965年4月20日の静岡地震 (M = 6.1) の前に発生した周辺の地震

